



## ユネスコ世界文化遺産の審査等を行う団体の副会長に 九州大学の河野主幹教授が選出！

### 概要

九州大学大学院法学研究院の河野俊行 主幹教授が、国際記念物遺跡会議（International Council on Monuments and Sites : ICOMOS（イコモス））副会長に選出されました。

また、併せて、次回のイコモス諮問委員会が、来年10月に福岡で開催されることが決定しました。

### ■背景・内容

国際記念物遺跡会議（International Council on Monuments and Sites : ICOMOS（イコモス） 本部：パリ）は、1964年に採択された記念物と遺産の保存に関する国際憲章（ヴェニス憲章）を受けて1965年に設立された国際的な非政府組織（NGO）で、加盟各国の文化遺産保存分野の第一線の専門家や専門団体によって構成されています。ユネスコをはじめとする国際機関と密接な関係を保ちながら、文化遺産保護・保存の理論、方法論、科学技術の研究・応用、およびユネスコの世界遺産条約に関しては、諮問機関として、世界文化遺産登録の審査、モニタリングの活動等を行っています。

九州大学大学院法学研究院の河野俊行 主幹教授は、これまで、国際法協会・文化遺産法委員会委員、日本ユネスコ国内委員会文化活動小委員会委員長、文化審議会・世界文化遺産特別委員会委員等を歴任し、国内外の文化遺産保護の理論と実務に関して活発な活動を展開してきました。2011年からはイコモスの執行委員を務めていましたが、本年11月にフィレンツェで開催された第18回イコモス総会における選挙で、5名の副会長の一人として選出されました（任期：3年（2014年～2017年）、日本人として3人目）。

今後、河野主幹教授は、イコモスの運営、組織改革、世界遺産審査の改革などに一層積極的に取り組むとともに、日本の文化遺産や世界遺産をめぐる国際交流にも貢献していきます。

またイコモスは、本年11月のフィレンツェでの総会において、2015年10月にイコモス諮問委員会を福岡で開催することも決定しました（2015年10月26日～29日）。この諮問委員会は、イコモスが100か国以上にもつ国内委員会の役員、および27の国際学術委員会の役員が一堂に会し、国際イコモスの運営に関して審議します。日本における開催は1994年の奈良での開催に次いで2度目となります。河野主幹教授を中心として、日本イコモス国内委員会（委員長：西村幸夫 東京大学先端科学技術研究センター所長）、福岡県等自治体の協力を求めながら準備・運営されます。会議の詳細は来年春までには確定しますが、イコモス創立50周年記念事業や市民向けのイベントも企画される予定です。

### 【お問い合わせ】

大学院法学研究院 主幹教授 河野 俊行（こうの としゆき）

電話・FAX：092-642-7167

Mail：konoto@law.kyushu-u.ac.jp